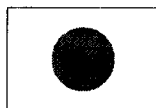


2005年12月16日



財団法人 日本障害者スポーツ協会

日本パラリンピック委員会



Japan Paralympic Committee

2006年トリノ冬季パラリンピック競技大会 日本選手団第一次決定のお知らせ

財団法人 日本障害者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会(事務局:東京都新宿区 会長:北郷勲夫)は、2006年3月10日(金)~3月19日(日)の日程で開催される「2006年トリノ冬季パラリンピック競技大会」の日本選手団代表選手・役員の第一次決定を行いました。ここに選手36名、役員47名の合計83名の選手団名簿を発表いたします。

今シーズンの結果をふまえた上で数名のアルペンスキー選手の追加決定を行う可能性もあり、最終的な日本選手団名簿は2006年2月10日、当協会サイト上で公表する予定です。

今回決定した代表選手のメディア用プロフィールをご希望の方は、添付の用紙に必要事項をご記入の上、ファックス(03-5273-2850)でJPCあてご請求ください。折り返しファックスまたは郵便でお送りいたします。なお、選手や競技役員への取材をご希望の場合は、同封の資料にある競技団体のメディア担当者までお問い合わせください。

お問い合わせは：

(財)日本障害者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会

事務局 安岡・峰村

Tel : 03-3204-3993 Fax : 03-5273-2850

Email : jpc99@jsad.or.jp

URL : <http://www.jsad.or.jp>

To: (財)日本障害者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会
事務局 峰村 史世 行

Fax : 03-5273-2850

2006年トリノ冬季パラリンピック競技大会
日本代表選手 プロフィール送付 申請用紙

申込日	200 年 月 日		
所属先名		部署名	
申込者名			
所属先	住所		
	TEL		FAX
	E-mail		
取材目的	1. 報道 2. 国民啓発を主たる目的とする番組・新聞・雑誌・書籍・インターネットの制作		
	3. スポーツ番組、スポーツ雑誌等によるアスリート紹介		
	4. その他()		
媒体種別	1. テレビ・ラジオ 2. 新聞 3. 雑誌 4. 書籍 5. インターネット 6. 主催者発行物		
	6. その他()		
媒体名	(http://www.)		
プロフィール 送付希望 選手名	1. 全員分		
	2. 希望選手名(複数可)		
発行日 または	平成 年 月 日		
放送日・時間	午前・午後 時 分 ~ 時 分		
【通信欄】			
協会使用欄			

2006年トリノ冬季パラリンピック競技大会

日本選手団名簿(役員)

役員

No.	競技名等/NO.	役職	氏名	フリガナ	性別	所属(勤務先名称)	都道府県・区市町村		
1	本部	1	団長	田村 章朝	タムラ ヨシトモ	男	社会福祉法人 東京劇生会	東京都狛江市	
2		2	副団長	中森 邦男	ナカモリ クニオ	男	財団法人 日本障害者スポーツ協会	埼玉県南埼玉郡宮代町	
3		3	医師	小林 麻郎	コバヤシ アキオ	男	大阪市立大学	大阪市阿倍野区	
4				成田 貴志	ナリタ ヒロシ	男	青森県立保健大学	札幌市厚別区	
5		5	看護師	金子 育世	カネコ イクヨ	女	国立身体障害者リハビリテーション病院	埼玉県所沢市	
6		6	総務	安岡 由恵	ヤスオカ ナオエ	女	財団法人 日本障害者スポーツ協会	東京都西東京市	
7				岩坪 友子	イワツボ トモコ	女	財団法人 日本障害者スポーツ協会	東京都豊島区	
8				峰村 史世	ミネムラ フミヨ	女	財団法人 日本障害者スポーツ協会	東京都中野区	
9				太田 澄人	オオタ スミト	男	長野県障害者福祉センター サンアップル	長野県埴科郡坂城町	
10		10	通訳	桜田 香織	サクラダ カオリ	女		イタリア	
11		11	総務兼通訳	金子 恵美子	カネコ エミコ	女	東京都障害者総合スポーツセンター	千葉県市川市	
12		12	総務兼輸送	林 孝雄	ハヤシ タカオ	男	株式会社 グロリアツリスト	横浜市栄区	
13				野村 大輔	ノムラ ダイスケ	男	JTB団体旅行上野支店	茨城県牛久市	
14	アルペンスキー	1	監督	松井 貞彦	マツイ サダヒコ	男		東京都足立区	
15		2	ヘッドコーチ	伴 一彦	バン カズヒコ	男	合名会社 甲州屋商店	長野県上田市	
16		3	総務	長谷部 貴	ハセベ タカシ	男	有限会社 アトリエ エス	千葉県我孫子市	
17		4	コーチ	古井 正貴	フルイ マサキ	男	タナカデンキ	長野県須坂市	
18		5	メカニック	宮本 晃	ミヤモト アキラ	男	横浜市総合リハビリテーションセンター	神奈川県海老名市	
19		6	コーチ	清水 圭介	シミズ ケイスケ	男		長野県東御市	
20		7	トレーナー	小林 崇邦	コバヤシ タカクニ	男	埼玉医科大学総合医療センター	東京都西東京市	
21		8	コーチ	KÜNTI Angelika	クンツ アンジェリカ	女		スイス	
22		9	コーチ	藤井 泉	フジイ イズミ	女		長野県千曲市	
23		10	トレーナー	坂橋 哲	イタバシ サトシ	男	医療法人社団 松山会 介護老人保健施設 ライフモア保土ヶ谷	神奈川県茅ヶ崎市	
24		11	メカニック	久保 潔	クボ キヨシ	男	KYB株式会社	岐阜県可児市	
25	ノルディックスキー	1	監督	荒井 秀樹	アライ ヒデキ	男	株式会社 日立システムアンドサービス スキー部	東京都江東区	
26		2	ワックス(グリッパ)	横山 久雄	ヨコヤマ ヒサオ	男	池邊家旅館	新潟県妙高市	
27		3	ワックス(グライダー)	吉岡 勲	ヨシオカ ススム	男	スポーツ吉岡	新潟県長岡市	
28		4	通訳	出村 裕子	デムラ ユウコ	女		スペイン	
29		5	クロスカントリーコーチ	久保田 祥子	クボタ サチコ	女	財団法人 上村病院健康増進施設ゆあ〜ず	新潟県十日町市	
30		6	バイアスロンコーチ	香西 俊輔	コウサイ シュンスケ	男	社団法人 日本ライフル射撃協会	東京都練馬区	
31		7	総務兼コーチ	渡辺 孝次	ワタナベ コウジ	男	飯島町立飯島中学校	長野県伊那市	
32		ノルディックスキー	8	トレーナー	白戸 篤志	シラト アツシ	男		東京都中央区
33			9	メカニック	古橋 浩志	フルハシ ヒロシ	男	株式会社 日立システムアンドサービス	千葉県習志野市
34			10	タイムチェック兼総務	森田 こと恵	モリタ コズエ	女	森田自動車	長野県駒ヶ根市
35			11	クロカントリーコーチ(メンタル/ワックス)	GROSSEGGGER 久美子	グロスエッガー クミコ	女		オーストリア
36			12	バイアスロンコーチ	渡部 勲	ワタナベ ツトム	男		千葉県市川区
37			13	カイドスキーヤー	小林 卓司	コバヤシ タカシ	男	北海道小樽水産高等学校	北海道小樽市
38					大平 紀夫	オオダイラ ノリオ	男	長野県立松本看護学校	長野県安曇野市
39					石戸 剛仁	ノソキ タケヒト	男	北海道網走看護学校	北海道網走市
40	アイススレッジホッケー	1	監督	中北 浩仁	ナカキタ コウジン	男	株式会社 日立製作所	東京都国分寺市	
41		2	コーチ	小松 昌久	コマツ マサヒサ	男	信濃医療福祉センター	長野県諏訪郡下諏訪町	
42		3	コーチ	UYENO Jeffrey E	ウエノ ジェフリー	男		アメリカ	
43		4	イクウィップメントマネージャー	羽田野 哲也	ハタノ テツヤ	男	羽田野製作所	岩手県盛岡市	
44		5	トレーナー	花岡 正敏	ハナオカ マサタカ	男	医療法人 祥風会 山本整形外科医院	岡山県岡山市	
45		6	トレーナー	吉田 巳有起	ヨシダ ミユキ	女	城本クリニック	岡山県倉敷市	
46		7	メンタルトレーナー	吉田 聡美	ヨシダ サトミ	女	コンディショニング・ラボ	札幌市厚別区	
47		8	メディア担当	齋藤 光彦	サイトウ ミツヒコ	男	Eヌティティ コムウェア 株式会社	横浜市保土ヶ谷区	

JPC役員

1	JPC役員	北郷 勲夫	ホクゴウ イサオ	男	財団法人 日本障害者スポーツ協会会長・JPC運営委員長
2		中島 武範	ナカジマ タケノリ	男	財団法人 日本障害者スポーツ協会常務理事
3		岩坪 勝	イワツボ マサル	男	財団法人 日本障害者スポーツ協会事務局長
4		陶山 哲夫	ヤマモト テツオ	男	財団法人 日本障害者スポーツ協会医学委員長・JPC運営委員
5		藤原 進一郎	フジワラ シンイチロウ	男	財団法人 日本障害者スポーツ協会技術委員長・JPC運営副委員長
6		田中 信行	タナカ ノブユキ	男	財団法人 日本障害者スポーツ協会科学委員会副委員長・JPC運営委員
7		荒木 雅徳	アラキ マサノブ	男	財団法人 日本障害者スポーツ協会科学委員

2006年トリノ冬季パラリンピック競技大会の概要

- 1 名 称 2006年トリノ冬季パラリンピック競技大会（通称 トリノパラリンピック）
Torino 2006 Paralympic Winter Games
- 2 主 催 国際パラリンピック委員会（IPC）
トリノ2006オリンピック組織委員会（TOROC）
- 3 開催地 イタリア・トリノ市
- 4 期 間 平成18年3月10日～19日
3月4日（土） 選手村オープン
3月10日（金） 開会式
3月11日（土）～ 競技開始（19日まで）
3月19日（日） 閉会式
3月22日正午 選手村閉村
- 5 渡航予定
 - 1) 出発
 - ① アルペンスキーチーム
平成18年2月22日 成田発13時30分（JAL417便） トリノ着18時05分
 - ② ノルディックスキーチーム
平成18年2月24日 成田発13時30分（JAL417便） トリノ着18時05分
 - ③ スレッジホッケー・本部
平成18年3月4日 成田発13時30分（JAL417便） トリノ着18時05分
 - 2) 帰国（日本選手団）
平成18年3月23日 成田着16時40分（JAL418便）
トリノ発 3月22日 20時45分
- 6 式 典 日本選手団結団式 平成18年2月13日（月） 13時
JAL CITY 田町
日本選手団解団式 平成18年3月21日（火）
トリノ市内ホテル
- 7 実施競技、会場及び選手数 （4競技、2選手村）
 - 1) アルペンスキー BORGATA（セストリエール） 223名
トリノ市内から車で2時間以上離れたアルプス山脈に位置し、セストリエール選手村から2Km離れ、車で5分程度
 - 2) ノルディックスキー PLAN（プラジェラート） 151名
トリノ市内から車で2時間程度離れたアルプス山脈に位置し、セストリエール選手村から8Km離れ、車で20分程度
 - 3) アイススレッジホッケー ESPOSIZIONI（トリノ市内） 120名
トリノ市内のほぼ中心部に位置し、トリノ選手村から5Km離れ、車で10分程度
 - 4) 車いすカーリング PALAGHIACCIO（トリノ市内ピネローロ） 40名
トリノ選手村から36Km離れ、車で1時間程度アルペン山脈の麓に位置する。
 - 5) 選手村 アイススレッジホッケーと車椅子カーリングチームはトリノ市内選手村に、アルペンスキーとノルディックスキーチームはセストリエール選手村に宿泊する。両選手村間の距離は104Km、車で2時間以上かかる。
セストリエールの選手村には全てのコーチが入村できない。入村できないコーチは選手村の隣の宿舎を使用する。

8 トリノ大会特記事項（2005. 11月IPC発表）

- 1) オリンピックと同じトリノ2006オリンピック組織委員会（TOROC）が大会を運営。
- 2) 車椅子カーリング競技が初めて実施される。
- 3) 種目はクラスを統合した、3つのカテゴリー制となる。
- 4) オリンピック終了後、2週間でパラリンピック開催
- 5) 実施種目（メダルイベント）は58
- 6) 参加国 41カ国
- 7) 選手数 534名
- 8) 競技役員 700名
- 9) 選手団 1000名
- 10) 報道者の人数 1000名
- 11) ボランティア 6000名以上
- 12) ドーピング検査 280件

- 9 参加数 選手・役員 約41カ国 約1250人（選手650、役員600人）予定
スレッジホッケー参加国
グループA ドイツ ノルウエー カナダ イタリア
グループB 日本 アメリカ スエーデン イギリス

10 日本選手団 91人（選手40人、ガイド4名、役員47人）参加予定

- 1) 日本選手団本部 13名
 - ① 団長 1名
 - ② 副団長 1名
 - ③ 医師 2名
 - ④ 看護婦 1名
 - ⑤ 総務 7名
 - ⑥ 通訳 1名
- 2) アルペンスキー 32名
 - ① 選手 17名（男子13名、女子 4名）
 - ② ガイド 1名
 - ③ 監督 1名
 - ④ 役員・コーチ13名
- 3) ノルディックスキー 23名
 - ① 選手 8名（男子 5名、女子 3名）
 - ② ガイド 3名
 - ③ 監督 1名
 - ④ 役員・コーチ 11名
- 4) アイススレッジホッケー 23名
 - ① 選手 15名（男子15名）
 - ② 監督 1名
 - ③ 役員・コーチ 7名

11 関係役員の派遣

会長を含め9名を予定。

2006年トリノ冬季パラリンピック競技大会 概要2

1 競技別割当人数

No.	競技名	割当人数			1ヶ国の最大参加数			日本の参加数	
		計	男	女	計	男	女	男	女
1	アルペンスキー	250	170	80	30	20	10	13	4
2	ノルディックスキー	180	110	70	23	15	8	5	3
3	アイススレッジホッケー	120	120		15			15	
4	車いすカーリング	40							
合計		590						33	7
								40	

2 実施種目

No.	競技名	種目名	種目数	実施種目					
				男			女		
				立位	シット	視覚	立位	シット	視覚
1	アルペンスキー	D H	6	○	○	○	○	○	○
		S G	6	○	○	○	○	○	
		G S	6	○	○	○	○	○	
		S L	6	○	○	○	○	○	
2	バイアスロン	7.5km	6	○	○	○	○	○	○
		10km	1				○		
		12.5km	5	○	○	○	○	○	
	クロスカントリースキー	2.5km	1				○		
		5km	6	○	○	○	○	○	
		10km	6	○	○	○	○	○	
		15km	3		○		○	○	
		20km	2	○		○			
		リレー	13.75km	1	○				
			7.5km	1				○	
3	アイススレッジホッケー	1							
4	車いすカーリング	1							
合計			58						

3 NPCの最大エントリー数

競技名	種目制限
アルペンスキー	5人
ノルディックスキー	3人
リレー	2チーム

2006年トリノ冬季パラリンピック競技大会 実施競技の概要

2006トリノ冬季パラリンピックでは次の4競技が実施される。

アルペンスキー

一般のアルペンスキー同様、滑降（DH）、スーパー-G（SG）、大回転（GS）、回転（SL）の4種目がある。

障害によって立位、チェアーと視覚障害の3つのカテゴリーに分けられて競技を行う。ただし、同一カテゴリーであっても障害の種類や程度が異なるため、障害による不公平が発生する。このため、クラスごとに係数（%）が設定され、滑走タイムにこの係数を掛けた計算タイムで勝敗を決するパーセンテージ制が採用される。

また、障害に応じた用具の工夫やルールの変更を行っている。たとえば、車いす使用者などの両下肢障害者は、1本のスキー板にサスペンション機能やバケットシートを装着した“チェアスキー”を使用し、2本のアウトリガー（先端に小さなスキー板が付いたストック）を操作して滑走する。片大腿切断のように1本のスキーで競技を行う場合には、バランスを保持するためにアウトリガーを使用している。視覚障害者の場合では、ガイドスキーヤーが音源などを利用してコース誘導することが認められている。

ノルディックスキー

ノルディックスキーでは、クロスカントリースキーとバイアスロンが行われる。

クロスカントリースキーは一般の競技と同様、クラシカルとフリーがある。バイアスロンは、フリー走行と射撃を組み合わせたもの。車いす使用者の場合は、シットスキーと呼ばれる専用のフレームに2本のノルディック用スキー板を装着したものに座って行う。競技は、アルペンスキーと同様のカテゴリーで実施され、パーセンテージ制も採用される。

アイススレッジホッケー

スレッジと呼ばれる氷上専用のソリと、グリップエンドに駆動用の刃をつけた短いスティックを用いて行うアイスホッケーで、脊髄損傷や切断の選手が座位で行うスポーツ。

1チーム6名の選手が氷上でプレーできる（交代は自由で、6名全員が一度に交代することもしばしばある）。このスポーツは、「氷上の格闘技」と呼ばれるにふさわしい激しいコンタクトや、華麗な組織プレーで観衆を魅了するウィンタースポーツの花形競技として人気が高い。

トリノ大会には、参加資格を得た8ヶ国が参加し、4チームによる予選リーグの上位2カ国が準決勝、勝者に進む。

車いすカーリング

車いす使用者が行うカーリング。投球技術だけでなく、巧みな戦術が要求されることから「氷上のチェス」と呼ばれている。

1チーム4名で構成され、試合は2チームによる対戦形式で行われる。1試合6エンド。各選手には、1エンドにつき2個のストーンが与えられ、各チーム交互にホッグラインの手前からハウスと呼ばれる円に向かってストーンを氷上に滑らせる。各エンドの得点は、ストーンをハウスの中心に最も近づけた勝者チームに与えられる（敗者チームが投じたストーンのうち、ハウスの中心に最も近いストーンよりも内側にある勝者チームのストーン数をカウントする）。スウィーピング（ブラシで掃くこと）は行わない。

2006年トリノパラリンピックから正式競技として実施される。

ノルディックスキー競技の解説

冬季パラリンピックのノルディックスキーで行われる競技は、クロスカンリースキー競技とバイアスロン競技がある。

クロスカンリースキー競技

クロスカンリースキーとは「雪原のマラソン」とも呼ばれ、専用のスキー板とストックを使って滑走し、タイムを競う。上り・下り・平地が、それぞれ約3分の1の割合になっているコースを走る。そのため、全身の持久力や筋力、スキー板の操作技能の高いレベルが要求される競技である。また、陸上のマラソンのように一斉に同時スタートではなく、時間差（通常30秒の間隔を開けた）スタートがおこなわれる。リレーなど種目によっては同時スタートの場合もある。

1) クラシカル競技 (CL) とフリー競技 (FT)

クロスカンリースキーには、クラシカル競技とフリー競技という2つの競技がある。

クラシカル競技とは、伝統的なクラシカル走法を用いて行い、スケーティング走法を行うことはできない（走法違反となり失格）。クラシカル走法とはスキーを平行に交互にキックして進むダイナゴル滑走や、2本のストックで押して進む推進滑走などで、雪面にある2本のシュプール（レール）上を滑走する走法。

フリー競技とは、クラシカル走法でも、スケーティング走法でも良く、自由に滑ることができる。スケーティング走法とはスキー板を逆ハの字に開き、片方のスキーでサイドキックし、他方のスキー板を滑らせるという（スケートのように板を斜めに滑らせる）動作繰り返しながら滑走する走法。

2) 障害クラスとメダルカテゴリ

ノルディック競技では3カテゴリー制（メダルカテゴリー）を採用している。

腕・脚・体幹など肢体に障害のある選手をLWクラスとし、さらに、その中で、立位を「Standing」カテゴリ、座位を「Sit Ski」カテゴリと分けている。

視覚に障害のある選手はBクラス、「ブラインド」クラスとして統一されている。

つまり「シットスキー」「スタンディング」「ブラインド」の3クラスでメダルを競う。

表記上では、「Sit Ski」「Standing」「Visually Impaired」とされる。

3) リレー種目

リレー種目は、いろいろな障害をもつ選手が一緒になって、それぞれの国ごとのチームをつくり、タイムを競う。男子・女子とも3人のメンバーを1チームにして行う。

男子は障害の程度を平等にするために、3人の係数（パーセンテージ）を合計288%までとしている。女子は、B1クラス、LW5/7クラス、Sit Skiのメンバーを必ず1名入れることになっている。

男子の1走目はシットスキー(3.5km)、2走目はクラシカル(5.0km)、3走目はフリー走法(5.0km)の、計13.5kmでタイムを競う。女子は、各2.5kmを走り、1走クラシカル、2走クラシカル、3走フリーで、計7.5kmでタイムを競う。

リレーは一斉同時スタートとなるので勝敗はリアルタイムで、先にゴールしたものが勝ちとなる。

バイアスロン競技

クロスカントリースキーと射撃を組み合わせた競技で、スキーの速さと射撃の正確さを競い順位を決める。

トリノでは、ロング（長距離：12.5km）と、ショート（短距離：7.5km）の、2種目がおこなわれる。どちらの種目も、2.5kmコースを1周として行われ、1周走ることにより射場に入り、射撃をする。1回の射撃（シューティング）では、5発の弾を撃つ。

①ロング12.5km（トリノで初めておこなわれる種目）

2.5km→射撃5発→2.5km→射撃5発→2.5km→射撃5発→2.5km→射撃5発→2.5km

②ショート7.5km（今までおこなわれていた種目）

2.5km→射撃5発→2.5km→射撃5発→2.5km

具体的には、次のような組み合わせの流れになる。

順位はタイムで決める。

2.5km 周回を走ったタイム①に、射撃のミスをペナルティタイム②として加算し、競技全体のタイム（タイム①+タイム②）を出し、合計タイムが速いものを上位とする。

射撃のミスをペナルティとしてタイムへ影響させる方法は、ロングとショートでは違う方法となる。

① ロング

射撃ミス1発を1分のペナルティタイムとする。つまり、4回の射撃で合計20発の弾を撃つので、全部ミスすれば20分のペナルティタイムが加算されることになる。つまり、走りの速さだけで勝つことは難しくなる。

② ショート

射撃ミス1発ごとに、決められたペナルティコースを走る。具体的には、射場の横に1周150mのループが設置されていて、そこをミスした数だけ周回する。つまり、1回の射撃で5発全部ミスした場合は、150m×5周=750mを余分に走ることになり、その時間がペナルティタイムとなる。

射撃の方法

スタンディングとシットスキークラスの選手は、1.5cmの的を10m離れたところから伏せ撃ちで狙う。エアガン（空気銃）を使い、実際に実弾が出る。以前は的の大きさは2.5cmだったが、レベルの高い競技にするために、1.5cmへと小さくされた経緯がある。

ブラインド（視覚障害）クラスの選手は、目での的を見て撃つことができないため、音の違いを聞き分けて的を狙い撃つことになる。つまり目で照準を合わせるのではなく、耳で照準を合わせる。そのために、電子音で標的の位置を知らせる音式スコープという装置を用いる。この装置は、的に近づくと音が高音に変化し（周波数が上がり）、離れると低くなるようになっていて、選手はヘッドフォンをつけて、その音を聞き分けて（周波数が最も高いところに）狙いを定め、撃ちぬく。的は10m離れたところに置かれ、大きさは3cm。ブラインドクラスで使用する銃は、長野のパラリンピックまではエアガン（空気銃）を使っていたが、ソルトレイクからビーム銃に変わり、トリノでもビーム銃が使われる。

競技スケジュール

2005. 12. 1

日	曜日	スレッジホッケー		アルペンスキー		バイアスロン		クロスカントリースキー	
5	Sun	練習日		フリーorボルトトレーニング					
6	Mon	10:30~12:00	練習	フリーorボルトトレーニング					
7	Tue	15:00~16:30	練習	フリーorボルトトレーニング					
8	Wed	16:30~18:00	練習	ダウンヒル公式トレーニング					
9	Thu	9:00~10:30	練習	ダウンヒル公式トレーニング		トレーニング		トレーニング	
10	Fri	20:00~21:30	練習	ダウンヒル公式トレーニング		バイアスロン (Long Distance) 公式トレーニング			
11	Sat	9:00~10:30	予選リーグ (Bグループ) SWE-JPN	11:00-13:00	Downhill 男女 LW 1-9	10:00-14:00	Long Distance 12.5Km (男子と女子の立、視) Long Distance 10Km (女子 LW10-12)		
12	Mon	9:00~10:30	予選リーグ (Bグループ) JPN-USA	11:00-13:00	Downhill 男女 LW10-12 & B1-3			10:00-14:00	Short Distance (free) 5Km (男子と女子の立、視) Short Distance (free) 2.5Km (女子 LW10-12)
13	Mon	13:00~14:00	練習	11:00-13:00	Super-G 男女 LW 1-9	バイアスロン (Short Distance) 公式トレーニング			
14	Tue	9:00~10:30	予選リーグ (Bグループ) JPN-GBR	11:00-13:00	Super-G 男女 LW10-12 & B1-3	10:00-14:00	Short Distance 7.5Km 男子、女子		
15	Wed	12:30~14:00	順位決定戦 A3-B4					10:00-14:00	Middle Distance (CL) 10Km (男子と女子の立、視) Middle Distance (CL) 5Km (女子 LW10-12)
		20:00~21:30	順位決定戦 B3-A4						
16	Thu	12:30~14:00	準決勝 A1-B2	10:00-12:00 13:00-15:00	Giant Slalom 男女 LW 1-9			クロスカントリースキー公式トレーニング	
		20:00~21:30	準決勝 B1-A2						
17	Fri	12:30~14:00	順位決定戦 7-8	10:00-12:00 13:00-15:00	Giant Slalom 男女 LW10-12 & B1-3			10:00-14:00	女子 Relay 3x2.5 km 男子 Relay 1x3.5 km+ 2x5 km
		20:00~21:30	順位決定戦 5-6						
18	Sat	17:00~18:30	3位決定戦	10:00-12:00 13:00-15:00	Slalom 男女 LW 1-9			9:00-14:00	Long Distance (CL) 15Km 男子 (LW10-12) Long Distance (CL) 10Km 女子 (LW10-12)
		20:00~21:30	決勝						
19	Sun			10:00-12:00 13:00-15:00	Slalom 男女 LW10-12 & B1-3			10:00-14:00	Long Distance (CL) 20Km 男子 (LW2-9&B1-3) Long Distance (CL) 15Km 女子 (LW2-9&B1-3)

最新版 アルペンスキー競技 クラス分類

Standing Class	
LW1	両下肢に重度の障害（例：両大腿切断で義足使用） 2本のアウトリガー（またはストック）+1本あるいは2本のスキー板を使用
LW2	片下肢に重度の障害（例：片大腿切断） 2本のアウトリガー（またはストック）+1本のスキー板（※例外あり）を使用
LW3-1	両下肢に障害（例：足首関節以上の両下腿切断） 2本のアウトリガー（またはストック）+2本のスキー板を使用
LW3-2	両下肢に障害（例：中度から軽度の両麻痺） 2本のアウトリガー（またはストック）+2本のスキー板を使用
LW4	片下腿に障害（例：片下腿切断で義足使用 片側膝関節の固定） 2本のストック+2本のスキー板を使用
LW5/7-1	両上肢に障害（例：両上腕切断 両上肢麻痺） ストックなしで2本のスキー板を使用
LW5/7-2	両上肢に障害（例：片側上腕切断および片側前腕切断） ストックなしで2本のスキー板を使用
LW5/7-3	両上肢に障害（例：両前腕切断） ストックなしで2本のスキー板を使用
LW6/8-1	片上肢に障害（例：片側上腕切断 片側上肢の完全麻痺で固定） 1本のストック+2本のスキー板を使用
LW6/8-2	片上肢に障害（例：片側前腕切断 片側上肢の麻痺で未固定） 1本のストック+2本のスキー板を使用
LW9-1	片上肢および片下肢に重度の障害 （例：片上肢および片大腿切断） ※自ら選択した用具を使用
LW9-2	片上肢および片下肢に障害 （例：片上肢および片下肢切断） ※自ら選択した用具を使用
Sitting Class ※チェアスキーを使用	
LW10-1	下肢に機能障害があり、上部腹筋の機能および座位バランスがない（TH5-6レベル以上）（例：頸髄または背髄損傷 脳性麻痺）
LW10-2	下肢に機能障害があり、上部腹筋に軽度の機能障害があり、座位バランスがないかまたは不良（TH7-10レベル）（例：背髄損傷 脳性麻痺）
LW11	下肢に機能障害があり、座位バランスが中程度 （例：背髄損傷 脳性麻痺）
LW12-1	下肢に機能障害があり、座位バランスが良好 （例：背髄損傷）
LW12-2	下肢に何らかの切断 （例：両大腿切断）
Blind Class	
B1	視力0から、光を感じられる程度の選手
B2	視力が0.03までか視野が5度まで、あるいはその両方の選手
B3	視力が0.1までか視野が20度まで、あるいはその両方の選手

ASD - Factor List
ASD - Handicap - System
Saison 2005 / 2006

Versions: SL: 079 GS: 084 SG: 060 DH: 029

13.10.2005

	Class	SL	GS	SG	DH
Blind	B 1	0.5224676	0.5750819	0.5655491	0.5603113
	B 2	0.7996321	0.8802847	0.8545519	0.8568695
	B 3	0.8416622	0.9108564	0.8900660	0.8976099
sitting	LW 10-1	0.6990102	0.7928527	0.7992649	0.8099779
	LW 10-2	0.7010102	0.7948527	0.8012649	0.8109779
	LW 11	0.7640795	0.8472246	0.8309892	0.8274230
	LW 12-1	0.7834458	0.8572246	0.8432155	0.8418179
	LW 12-2	0.7940808	0.8672246	0.8532155	0.8518178
Standing	LW 1	0.8278113	0.8268604	0.8189602	0.8612981
	LW 2	1.0000000	0.9184362	0.9227480	0.9462654
	LW 3-1	0.8785876	0.9273644	0.9209172	0.9359275
	LW 3-2	0.8873110	0.9344277	0.9326769	0.9425337
	LW 4	0.9904098	0.9927480	0.9951290	0.9974880
	LW 5/7-1	0.9846028	0.9813570	0.9860568	0.9809023
	LW 5/7-2	0.9866028	0.9833570	0.9880568	0.9829023
	LW 5/7-3	0.9886028	0.9853570	0.9900568	0.9849023
	LW 6/8-1	0.9890013	0.9980000	0.9980000	0.9980000
	LW 6/8-2	0.9910013	1.0000000	1.0000000	1.0000000
	LW 9-1	0.8098113	0.8144975	0.8298012	0.8632981
	LW 9-2	0.8923240	0.9289565	0.9238435	0.9532981

最新版 ノルディックスキー競技 クラス分類

Standing Class	
LW2	片下肢に障害（例：片大腿切断） 2本のストック+2本のスキー板を使用
LW3	両下肢に障害（例：足首関節以上の両下腿切断） 2本のストック+2本のスキー板を使用
LW4	片下腿に障害（例：片下腿切断で義足使用・片側膝関節の固定） 2本のストック+2本のスキー板を使用
LW5/7	両上肢に障害（例：両上腕切断・両上肢麻痺） ストックなしで2本のスキー板を使用
LW6	片上肢に障害（例：片側上腕切断・片側上肢の完全麻痺で固定） 1本のストック+2本のスキー板を使用
LW8	片上肢に障害（例：片側前腕切断・片側上肢の麻痺で未固定） 1本のストック+2本のスキー板を使用
LW9	片上肢および片下肢に障害（例：片上肢および片大腿切断） 自ら選択した用具を使用
Sitting Class ※チェアスキーを使用	
LW10.5	下肢および上部腹筋の機能がなく、座位バランスがやや良（腕サポートなし） （例：頸髄損傷・脳性麻痺）
LW11	下肢に機能障害があり、座位バランスが中程度良（腕サポートなし+軽運動可能） （例：脊髄損傷・脳性麻痺）
LW11.5	下肢に機能障害があり、座位バランスが良好 （例：脊髄損傷）
LW12	下肢に何らかの切断例 （両大腿切断）
Blind Class	
B1	視力0から、光を感じられる程度の選手
B2	視力が0.03までか視野が5度まで、あるいはその両方の選手
B3	視力が0.1までか視野が20度まで、あるいはその両方の選手

IPC Nordic Skiing Committee
Percentages season 2005-2006

Blind- Standing	Class	Classic	Free technique
	B1	87%	85%
	B2	98%	98%
	B3	100%	100%
	LW 2	91-93%	86 - 91%**
	LW 3	87%	80 - 91%**
	LW 4	94 - 96%*	96%
	LW 5/7	79%	87%
	LW 6	91%	96%
LW 8	92%	97%	
LW 9	85 - 95%**	82 - 95%**	

Sitting	Class	Classic
	LW 10	86%
	LW 10,5	91%
	LW 11	94%
	LW 11,5	98%
	LW 12	100%

* 同じクラスであっても、障害の程度により係数が異なる。

Athletes with individual percentages

Name	Nation	Class	% - classic	%-free technique
Roland Gass	GER	LW 2	91%	88%
Alfis Makametdinov	RUS	LW 2	91%	91%
Irina Kirichenko	UKR	LW 3	87%	80%
Hermann Oberparleiter	ITA	LW 3	87%	88%
Nils Erik Ulset	NOR	LW 3	87%	89%
Jan Kolodziej	POL	LW 3	87%	80%
Harald Thauer	GER	LW 4	94%	96%
Tyler Mosher	CAN	LW 4	95%	96%
Krzysztof Rządkosz	POL	LW 9	90%	93%
Mari Lien	NOR	LW 9	86%	82%
Anne Floriet	FRA	LW 9	90%	91%
Siw Vestengen	NOR	LW 9	90%	90%
Jörg Baldauf	GER	LW 9	90%	90%
Michael Kurz	AUT	LW 9	91%	92%
Jun Li	CHN	LW 9	90%	92%
Giuliano Truzzoli	ITA	LW 9	95%	95%
William Stuart	USA	LW 6	91%	96%
Andriy Voytenko	UKR	LW 6	91%	96%
Yuliya Batenkova	UKR	LW 6	91%	96%
Franck Paget	FRA	LW 6	91%	96%
Thomas Oelsner	GER	LW 6	91%	96%
Anna Malgorzata	POL	LW 6	91%	96%
Stina Maria Sellin	SWE	LW 8	92%	97%
Kelly Underkofler	USA	LW 8	92%	97%
Yoshihiro Nitta	JPN	LW 8	92%	97%
Momoko Dekijina	JPN	LW 8	92%	97%
Shoko Ota	JPN	LW 8	92%	97%
Pascal Scroofer	SUI	LW 8	92%	97%
Anne Burmistrova	RUS	LW 8	92%	97%
Valerii Darovskich	RUS	LW 8	92%	97%
Rustram Garifoullin	RUS	LW 8	92%	97%
Siarhei Silchanka	BLR	LW 8	92%	97%
Iarysa Varona	BLR	LW 8	92%	97%
James Kenneth Millar	AUS	LW 8	92%	97%
Maija Loytynoja	FIN	LW 8	92%	97%
Ilkka Tuomisto	FIN	LW 8	92%	97%
Andreas Hustveit	NOR	LW 8	92%	97%
Emmanuel Lacroix	FRA	LW 8	92%	97%
Grazyna Zofia Gron	POL	LW 8	92%	97%

冬季パラリンピック競技大会の歴史

回	開催年	開催国	開催都市	参加 国数	参加 選手数	日本の成績					
						競技	選手数	1	2	3	計
1	1976	ノルウエー	エーンシェルドスピーク	14	250	アルペン	(1)*	0	0	0	0
						ノスカタリ	0	0	0	0	0
						合計	(1)	0	0	0	0
2	1980	ノルウエー	ヤイロ	18	350	アルペン	5	0	0	0	0
						ノスカタリ	0	0	0	0	0
						合計	5	0	0	0	0
3	1984	オーストリア	インスブルック	22	350	アルペン	12	0	0	0	0
						ノスカタリ	0	0	0	0	0
						合計	12	0	0	0	0
4	1988	オーストリア	インスブルック	22	397	アルペン	16	0	0	2	2
						ノスカタリ	0	0	0	0	0
						バイアスロン	0	0	0	0	0
						合計	16	0	0	2	2
5	1992	フランス	アルベールビル	24	475	アルペン	15	0	0	2	2
						ノスカタリ	0	0	0	0	0
						バイアスロン	0	0	0	0	0
						合計	15	0	0	2	2
6	1994	ノルウエー	リレハンメル	31	1,000	アルペン	23	0	3	3	6
						ノスカタリ	2	0	0	0	0
						バイアスロン	2	0	0	0	0
						アイスレッジ スピードレース	2	0	0	0	0
						アイスレッジ ホッケー	0	0	0	0	0
						合計	27	0	3	3	6
7	1998	日本	長野	32	571	アルペン	24	2	2	1	5
						ノスカタリ	19	0	1	1	2
						バイアスロン	1	1			2
						アイスレッジ スピードレース	13	9	12	11	32
						アイスレッジ ホッケー	15	0	0	0	0
						合計	70**	12	16	13	41
8	2002	アメリカ	ソルトレーク	36	416	アルペン	14	0	0	2	2
						ノスカタリ	8	0	0	1	1
						バイアスロン	0	0	0	0	0
						アイスレッジ ホッケー	15	0	0	0	0
						合計	37	0	0	3	3
9	2006	イタリア	トリノ	40	590	アルペン					
						ノスカタリ					
						バイアスロン					
						アイスレッジ ホッケー	15				
						車いす カーリング	0	0	0	0	0
						合計					
10	2010	カナダ	バンクーバー			(予定)					

*個人的に参加

**アイスレッジスピードレースとアイスレッジホッケーの両方に出場した選手がいるため。

冬季パラリンピックの障害別参加状況

回	開催年	開催国	ISMWSF	ISOD	CP- ISRA	IBSA	INAS -FID	備 考
			車いす	切断など	脳性マヒ	視覚障害	知的障害	
1	1976	ノルウエー		○		○		オープン競技としてスレッジレースを実施
2	1980	ノルウエー	○	○	○	○		オープン競技としてスレッジのダウンヒルレースを実施
3	1984	オーストリア	○	○	○	○		サラエボオリンピックでオープン競技（スラローム）実施
4	1988	オーストリア	○	○	○	○		アルペン、ノルディック競技のシットスキーの紹介
5	1992	フランス	○	○	○	○		知的障害者のアルペン、ノルディックレスキーの紹介
6	1994	ノルウエー	○	○	○	○		スレッジホッケーの紹介
7	1998	日本	○	○	○	○	○	
8	2002	アメリカ	○	○	○	○		
9	2006	イタリア	○	○	○	○		
10	2010	カナダ	○	○	○	○		知的障害者は未定

冬季パラリンピックの競技実施状況

回	開催年	開催国	アルペンスキー	ノルディックスキー		アイススレッジ スピードレース	アイス スレッジホッケー	車いす カーリング
				クロスカントリー スキー	バイアスロン			
1	1976	ノルウエー	○	○				
2	1980	ノルウエー	○	○				
3	1984	オーストリア	○	○				
4	1988	オーストリア	○	○	○			
5	1992	フランス	○	○	○			
6	1994	ノルウエー	○	○	○	○	○	
7	1998	日本	○	○	○	○	○	
8	2002	アメリカ	○	○	○		○	
9	2006	イタリア	○	○	○		○	○
10	2010	カナダ	○	○	○		○	○

2006年トリノ冬季パラリンピック競技大会
スケジュール（案）

年	月	日	内 容		
2005	5月	27日	競技団体打合会 アルペン、ノルディック割当枠の通知		
	7月	1日	アルペン、ノルディック割当枠の回答締切		
	9月	23, 24日	合同研修会（大阪）		
	10月	1, 2日	合同研修会（東京）		
		22, 23日	J P 陸上競技大会（大阪市）		
	11月	1日	競技団体からの推薦調書の締切		
		21日～12月5日	医学委員会、強化部会審査		
		14日～20日（日）	I P C 総会（北京）		
		22日（火）	強化部会（選手競技力審査）		
		24日（木）	記者発表下見		
		26日（土）、27日（日）	合同研修会（福岡）		
	12月	1日（木）	アクレ、宣誓書、入国、出国用紙の締切 出場の可能性のあるすべての選手について、NPCからTOROCにアクレ申請用紙を送付		
		10日（土）	J P スレッジホッケー大会（長野県岡谷市）		
		15日（木）	運営委員会による選手決定		
		16日（金）	記者会見 メディア発表 「新生銀行」11:00～		
	2006	1月	12日（木）pm5:00	Pre-DRMs 電話で	
29日（日）～2月1日（水）			I P C ワールドカップアルペンスキー大会（長野県志賀高原）		
2月		2（木）～5日（日）	J P アルペンスキー大会（長野県白馬村）		
		8日（水）	指導者協議会、競技団体協議会、セミナー、表彰		
		9日（木）	協会協議会		
		10日（金）	（参考）トリノオリンピック開催（26日まで）		
		13日（月）	結団式「JAL CITY 田町」13:00～		
		17日（金）～19日（日）	J P クロスカントリースキー大会（長野県白馬村）		
		22日（水）	アルペンスキーチーム日本出発		
		24日（金）	ノルディックスキーチーム日本出発 スポーツエントリーの締切		
3月		1日（水）	先発隊出発		
		2日（木）am 9:00	DRM トリノ選手村		
		4日（土） 正午	選手村オープン スレッジホッケー 本部役員出発		
		5日～8日	クラス分け		
		8日（水）	J P C 役員A（前半）出発（トリノ夜到着予定）		
		10日（金）	開会式（20:00～23:30）		
		11日（土）	ホッケー	アルペン	ノルディック
		12日（日）	SH（T）	DH（立位）	B i（長距離）
		12日（日）	SH（T）	DH（WB）	CC（短距離）
		13日（月）		SG（立位）	
		14日（火）	SH（T）	SG（WB）	B i（短距離）
		15日（水）	SH（PO）		CC（中距離）
			J P C 役員B（後半）日本出発（トリノ夜到着予定）		
		J P C 役員A（前半）トリノ出発（日本翌日朝到着予定）			
		16日（木）	SH（SF）	GS（立位）	
		17日（金）	SH（5-8）	GS（WB）	CC（リレー）
		18日（土）	SH（3・F）	SL（立位）	CC（車椅子）
	19日（日）		SL（WB）	CC（立視）	
	19日（日）	閉会式（20:00～23:30）			
21日（火）	解団式〔トリノ市内〕				
22日（水）	日本選手団・J P C 役員B（後半）トリノ出発				
23日（木）	日本選手団帰国				

(記入日2005年12月13日)

競技団体名	特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟			
所在地	〒 173-0037 東京都板橋区小茂根 1-1-7			
TEL	03-3554-3810	FAX	03-5995-4500	
E-Mail	info@sajd.com			
連絡 責任者	氏名	田中 理		
	役職	強化調整部長		
	所在地	〒 222-0035 横浜市港北区鳥山町1770 横浜リハビリテーションセンター企画研究室		
	TEL	045-473-0666 (4112) (携帯) 090-1661-5775	FAX	045-473-1299
	E-Mail	tanaka.o@yokohama-rf.jp		
パラリン ピック 担当者	氏名	松井 貞彦		
	役職	アルペン部監督		
	所在地	〒 120-0023 足立区千住曙町41-3-704		
	TEL	(携帯) 090-2915-0026	FAX	
	E-Mail	sada-matsui@mth.biglobe.ne.jp		
メディア (広報) 担当者	氏名	長谷部 貴		
	役職	アルペン部総務		
	所在地	〒 173-0037 東京都板橋区小茂根 1-1-7 特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟		
	TEL	03-3554-3810	FAX	03-5995-4500
	E-Mail	hsaj@jt8.so-net.ne.jp		

*この様式は、日本選手団広報のためのメディア配布資料となります。

トリノパラリンピックまでの強化活動を詳しく記入してください。

競技名
アルペンスキー
(記入日 2005年12月13日)

強化内容 (該当に○)	実施期日	実施場所		参加人数		
		所在地	選手	コーチ	総数	
合宿 (競技会) () その他 ()	12月 1日 ~ 12月 21日	Aptenauスキー場 〒 住所 オーストリアチロル州 TEL	12	10	22	
合宿 (競技会) (ポイント記録競技会) その他 ()	1月 12日 ~ 1月 13日	白馬岩岳スキー場 〒 住所 長野県白馬村 TEL	17	5	22	
合宿 (競技会) (チェアスキーチャンピオンシップ) その他 ()	1月 14日 ~ 1月 15日	志賀高原西館山スキー場 〒 住所 長野県山ノ内町 TEL	17	7	24	
合宿 (競技会) (ワールドカップ) その他 ()	1月 22日 ~ 1月 27日	韓国 Pyeong Chang スキー場 〒 住所 TEL	17	7	24	
合宿 (競技会) (ワールドカップ) その他 ()	1月 29日 ~ 2月 1日	志賀高原西館山スキー場 〒 住所 長野県山ノ内町 TEL	17	14	31	
合宿 (競技会) (ジャパンパラリンピック) その他 ()	2月 2日 ~ 2月 5日	白馬八方尾根スキー場 〒 住所 長野県白馬村 TEL	17	7	24	
合宿 競技会 () その他 ()	2月 6日 ~ 2月 10日	白馬八方尾根スキー場 〒 住所 長野県白馬村 TEL	12	7	19	
合宿 (競技会) (35回全国身障スキー大会) その他 ()	2月 17日 ~ 2月 18日	安比高原スキー場 〒 住所 岩手県安代町 TEL	6	2	8	
合宿 (競技会) (ワールドカップ) その他 ()	2月 26日 ~ 3月 3日	イタリア・Artesina 〒 住所 TEL	17	12	29	
合宿 競技会 () その他 ()	11月 日 ~ 2月 日	菅平トレーニングセンター 〒 住所 長野県真田村 TEL	任意	5		
合 計			132	76	208	

*この様式は、日本選手団広報のためにメディア配布資料となります。

(記入日 2005年11月1日)

競技団体名		特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟		
所在地		〒 173-0037 東京都板橋区小茂根1-1-7		
TEL		03-3554-3810	FAX	03-5995-4500
E-Mail		info@said.com		
連絡 責任者	氏名	荒井 秀樹		
	役職	強化部ノルディック部長(チーム監督)		
	所在地	〒 108-8250 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル 日立システム&サービス		
	TEL	03-6718-5711 (携帯) 090-6537-9416	FAX	03-6718-5719
	E-Mail	jpnarai@mb.infoweb.ne.jp		
パラリン ピック 担当者	氏名	渡辺 孝次		
	役職	理事(チーム総務)		
	所在地	〒 399-3702 長野県上伊那郡飯島町飯島2532-2 飯島中学校		
	TEL	0265-86-2020 (携帯) 090-3063-7586	FAX	0265-86-5916
	E-Mail	paranabe23@krb.biglobe.ne.jp		
メディア (広報) 担当者	氏名	渡辺 孝次		
	役職	理事(チーム総務)		
	所在地	〒 399-3702 長野県上伊那郡飯島町飯島2532-2 飯島中学校		
	TEL	0265-86-2020 (携帯) 090-3063-7586	FAX	0265-86-5916
	E-Mail	paranabe23@krb.biglobe.ne.jp		

*この様式は、日本選手団広報のためのメディア配布資料となります。

競技名

クロスカン트리スキー
バイアスロン

トリノパラリンピックまでの強化活動を詳しく記入してください。

(記入日 2005年 12月14日)

強化内容 (該当に○)	実施期日	実施場所		参加人数			
		所在地		選手	ガイド	コーチ	総数
合宿 競技会 (スキー&バイアスロン) その他 ()	12月 4日 ~12月12日	イタリア バルデフィエネ		8	3	10	21
		〒	住所				
合宿 競技会 (WC 第1戦) その他 ()	12月16日 ~12月18日	IPCワールドカップ イタリア バルデフィエネ		8	3	10	21
		〒	住所				
合宿 競技会 (スキー&バイアスロン) その他 ()	12月28日 ~ 1月 7日	北海道 旭川市		8	3	5	16
		〒	住所 北海道 旭川市 高砂台				
合宿 競技会 (全日本障害者 加サカトリースキ大会) その他 ()	1月 8日	北海道 旭川市		8	3	5	16
		〒	住所 北海道 旭川市 高砂台				
合宿 競技会 (WC 第2戦) その他 ()	1月19日 ~ 1月21日	全ノルウェー 障害者クロスカントリースキー大会		5	1	3	9
		〒	住所				
合宿 競技会 (WC 第2戦) その他 ()	1月27日 ~ 1月29日	IPCワールドカップ ノルウェー リレハンメル		5	1	3	9
		〒	住所				
合宿 競技会 (調整合宿) その他 ()	2月11日 ~ 2月17日	長野県 白馬村 スノーハープ		8	3	3	12
		〒	住所 長野県 北安曇郡 白馬村 神城				
合宿 競技会 (ジャパンパラリンピック) その他 ()	2月18日 ~ 2月19日	長野県 白馬村 スノーハープ		8	3	3	12
		〒	住所 長野県 北安曇郡 白馬村 神城				
合宿 競技会 (事前合宿) その他 ()	2月25日 ~ 3月 3日	イタリア ブルッソ		8	3	4	15
		〒	住所				
合 計				66	23	46	131

*この様式は、日本選手団広報のためにメディア配布資料となります。

(記入日 2005年11月1日)

競技団体名		日本身体障害者アイススポーツ連盟 (スレッジホッケー委員会)		
所在地		〒 393-0093 長野県諏訪郡下諏訪町6525-1 信濃医療福祉センターリハビリテーション部理学療法科内		
TEL		0266-27-5868	FAX	0266-27-7936
E-Mail		jsled@po22.lcv.ne.jp		
連絡 責任者	氏名	小松 昌久		
	役職	事務局長		
	所在地	〒 393-0093 長野県諏訪郡下諏訪町6525-1 信濃医療福祉センターリハビリテーション部理学療法科内		
	TEL	0266-27-5868	FAX	0266-27-7936
	E-Mail	jsled@po22.lcv.ne.jp		
パラリン ピック 担当者	氏名	小松 昌久		
	役職	事務局長		
	所在地	〒 393-0093 長野県諏訪郡下諏訪町6525-1 信濃医療福祉センターリハビリテーション部理学療法科内		
	TEL	0266-27-5868	FAX	0266-27-7936
	E-Mail	jsled@po22.lcv.ne.jp		
メディア (広報) 担当者	氏名	小松 昌久		
	役職	事務局長		
	所在地	〒 393-0093 長野県諏訪郡下諏訪町6525-1 信濃医療福祉センターリハビリテーション部理学療法科内		
	TEL	0266-27-5868	FAX	0266-27-7936
	E-Mail	jsled@po22.lcv.ne.jp		

*この様式は、日本選手団広報のためのメディア配布資料となります。

競技名
スレッジホッケー

トリノパラリンピックまでの強化活動を詳しく記入してください。

(記入日2005年12月 10日)

強化内容 (該当に○)	実施期日	実施場所		参加人数		
		所在地		選手	コーチ・スタッフ	総数
合宿 競技会 (J.P大会12/9・10)	12月8日～ 12月11日	やまびこスケートの森		17	8	25
		〒 394-0055 住所 長野県岡谷市内山4769-14 TEL 0266-24-2494				
海外合宿	12月26日～ 1月3日	〒		15	6	21
		住所 シカゴ TEL				
合宿	1月7日～ 1月9日	やまびこスケートの森		19	8	27
		〒 394-0055 住所 長野県岡谷市内山4769-14 TEL 0266-24-2494				
合宿	1月20日～ 1月22日	やまびこスケートの森		19	8	27
		〒 394-0055 住所 長野県岡谷市内山4769-14 TEL 0266-24-2494				
合宿	2月3日～ 2月6日	やまびこスケートの森		19	8	27
		〒 394-0055 住所 長野県岡谷市内山4769-14 TEL 0266-24-2494				
合宿	2月13日～ 3月3日	やまびこスケートの森		19	8	27
		〒 394-0055 住所 長野県岡谷市内山4769-14 TEL 0266-24-2494				
合 計				108	46	154

*この様式は、日本選手団広報のためにメディア配布資料となります。